

小平市史料集 近現代編 第三集

小平市関連新聞記事集 下巻

目次

第三章 戦後復興期と町の動き（一九四五～五四年）

第一節 自然と人

- 一 自然
- 二 信仰

第二節 農業

- 一 篤農家
- 二 農作物

第三節 政治―地域の枠組み―

- 一 国政
- 二 都政と首都圏整備
- 三 町政と町村合併の動き

【トピック②】 町村合併（一九五〇～五八年）

第四節 平和と基地問題

【トピック③】 米軍機墜落事故

第五節 町づくり

【トピック④】 小平霊園

第六節 教育・文化

- 一 小・中学校
- 二 高校
- 三 大学

四 障がい者支援機関

五 社会教育と文化

第七節 生活―貧しさからの脱却―

- 一 生活の改善
- 二 女性の自立
- 三 医療・福祉

第八節 事件・世相

- 一 事件
- 二 世相

第四章 高度成長下での町から市へ（一九五五～六〇年）

第一節 自然と人

- 一 自然
- 二 信仰

第二節 農業

第三節 政治―地域の枠組み―

- 一 国政
- 二 都政と首都圏整備
- 三 町政から市政へ

四 自治と住民運動

第四節 平和と基地問題

第五節 町づくり

【トピック⑤】 武州鉄道敷設への動き

第六節 教育・文化

一 小・中学校

【トピック⑥】 学童の交通事故

二 高校

三 大学

四 障がい者支援機関

五 社会教育

六 文化

第七節 生活―ゆたかな生活を求めて―

一 生活の改善

二 医療・福祉

三 環境問題

第八節 事件・世相

一 事件

二 世相

解題

〔上巻目次〕

第一章 昭和初期の村（一九二六～三六年）

第一節 自然と人

一 自然

二 信仰

第二節 農業

第三節 政治―地域の枠組み―

一 国政

二 府政

三 村政

【トピック①】 小平の小学校高等科併置問題

第四節 多摩の軍事施設

第五節 開発と経済

第六節 教育・文化

一 小・中学校

二 文化

第七節 生活

一 貧窮

二 医療・衛生

第八節 事件・世相

第二章 戦時体制下の町づくり（一九三七～四五年）

第一節 自然と人

一 自然

二 信仰

第二節 農業

一 篤農家

二 農作物

第三節 政治―地域の枠組み―

一 国政

二 府政と都制案

三 村政から町制へ

第四節 戦争と民衆

一 民衆の動き

二 戦死者への想い

第五節 町づくり

第六節 教育・文化

一 小学・中学・高女

二 青年学校

三 大学

第七節 生活

一 物資の統制

二 活動する青年と女性

三 医療・衛生

第八節 世相・事件

細目次

第三章 戦後復興期と町の動き（一九四五〜五四年）

第一節 自然と人

一 自然

319	野水、蔬菜を飲込む	一九四五年一〇月二三日	毎日
320	小金井桜満開は四月一五日頃	一九四六年四月一〇日	毎日
321	農民一三〇余名が野火止用水路のセキを切り歩く	一九四七年八月六日	朝日
322	カラツ風対策に防風林	一九五〇年四月二七日	読売
323	雹でスイカ全滅	一九五二年六月二九日	毎日
324	玉川上水べり桜の運命いかに	一九五四年四月一六日	毎日
325	台風で電話線切断	一九五四年九月二七日	朝日

二 信仰

326	神信心で赤痢を治そうとする	一九五二年三月二一日	朝日
327	府中くらのやみ祭、人出八万人、ケガ人続出	一九五二年五月七日	読売

第二節 農業

一 篤農家

328	小平の精農家、イモの増産	一九四五年二月二二日	毎日
329	イモ作りの名人	一九四六年六月一日	朝日
330	イモ名人の競作	一九四六年七月一六日	朝日
331	揺るぎないイモ名人	一九四六年八月二二日	毎日
332	ジャガイモ名人	一九四六年九月一八日	毎日
333	小平でイモ掘り競争	一九四六年十一月一日	毎日
334	イモ名人の増産伝授	一九四七年三月二二日	読売
335	イモ名人も増収共進会に参加	一九四九年二月二四日	読売
336	イモの増産トラの巻	一九四九年三月五日	読売
337	統制撤廃のためイモから陸稲、野菜へ	一九四九年一〇月一三日	朝日

二 農作物

338	北海道へ種イモの催促	一九四六年四月九日	読売
339	サツマ豊作、俵不足	一九四七年一〇月二五日	読売
340	北海道から種イモの入荷	一九四八年一月九日	読売
341	七町村が農林省の指定野菜栽培地へ	一九四九年一〇月一九日	朝日
342	スイカの小平	一九五〇年四月一三日	毎日
343	炎天下の小平スイカ	一九五〇年七月九日	毎日
344	サツマイモの政府買入れ	一九五〇年八月二七日	読売
345	「東京イモ」を「小平イモ」に改称し東北で販路拡大	一九五〇年十一月五日	読売
346	田無町、税金をおそれて家畜数が減少	一九五一年七月一〇日	朝日
347	味を顧みないイモ価格下落	一九五一年八月二三日	毎日
348	品質改善でスイカ増産を	一九五二年二月二六日	朝日
349	芋焼酎会社の先行不安	一九五二年三月四日	毎日
350	バイラス病、小平イモは実害なし	一九五二年六月一三日	毎日
351	クリタマ蜂退治にホリドール粉剤	一九五二年六月一八日	読売
352	有畜農家創設に融資	一九五二年六月二二日	読売
353	盆に間合うスイカ栽培	一九五二年七月八日	毎日
354	都内衛生優良店に小平の牧場	一九五二年十一月六日	毎日
355	名産「東京ウド」の出荷	一九五三年一月二八日	毎日

356 「イモの小平」復活のために新式製粉機購入 毎日
355 甘いスイカ作り 一九五四年六月二六日 読売
354 三年連続小平スイカ不作 一九五四年七月七日 読売
353 牛乳価格の値下げとデフレ 一九五四年九月三〇日 読売
352 養豚業の不況 一九五四年十一月一四日 読売

第三節 政治―地域の枠組み―

一 国政

361 左右社会党に分断される都下の労農戦線 一九五二年一月八日 朝日
362 各政党の総選挙対策 一九五二年二月二日 毎日
363 各党の選挙運動 一九五三年三月一六日 朝日
364 三多摩政界の再編の動き 一九五四年四月一五日 読売
365 大久保留次郎氏七区からの立候補断念か 一九五四年一月二八日 毎日

二 都政と首都圏整備

366 三多摩の社会党支部設立 一九四五年一〇月一八日 毎日
367 日用品の配給で三多摩格差 一九四六年九月三日 毎日
368 小平町から都議 一九四七年三月一日 毎日
369 小金井大緑地を農民に与えよ 一九四七年九月一九日 読売
370 小金井大緑地、農民に返還 一九四七年一月二八日 毎日
371 都知事、三多摩第二東京計画を語る 一九四八年一月九日 朝日
372 北多摩地方事務所を府中から国分寺へ移転要求 一九四八年六月一二日 朝日
373 三多摩を都から切り離す首都建設法 一九五〇年四月二〇日 朝日
374 小金井大緑地をレクリエーション施設に陳情 一九五一年一月一〇日 読売
375 都総務局長に小平の細田義安 一九五四年七月二日 毎日

三 町政と町村合併の動き

376 小平青年、民主化に立つ 一九四七年二月二日 朝日
377 自治体警察から組合警察へ 一九四八年一〇月一六日 読売
378 町財政難で組合消防から小平脱退か 一九四九年四月一四日 朝日
379 組合か単独か、小平消防署問題でもめる 一九四九年五月二六日 毎日
380 交通不便を解消する小平町 一九四九年二月二九日 毎日
381 警察学校の地小平 一九五〇年九月一日 読売
382 小平町議事堂建設 一九五〇年二月二二日 毎日
383 小平自治体警察署廃止 一九五一年九月九日 毎日
384 小平町会、農業委員の辞表問題を究明へ 一九五四年六月七日 毎日
385 小平住民、精神病院建設に反対 一九五四年一〇月二七日 朝日
386 郡下一歳入のとぼしい小平 一九五四年二月一七日 朝日

【トピック②】町村合併（一九五〇～五八年）

387 武蔵野と三鷹の合併 一九五〇年三月三日 朝日
388 旧陸軍技術研究所跡地住民の住民登録問題 一九五二年八月二二日 毎日
389 大立川市構想 一九五三年一〇月三日 読売
390 町村合併でなく区制樹立を 一九五三年一〇月一七日 毎日
391 武蔵野と立川中心の区制を 一九五三年一月一〇日 毎日
392 北多摩の区制は是か非か 一九五三年一月一日 毎日
393 合併についての意見を 一九五三年二月四日 毎日
394 三多摩には区制を布かず 一九五四年二月二七日 毎日
395 北多摩郡の区制実現の可能性 一九五四年三月一四日 読売
396 四町合併から東村山を除外 一九五四年六月二五日 朝日

397	田無、武蔵野市との合併を否定	一九五四年六月二九日	毎日
398	小平・小金井・国分寺合併第一回協議会	一九五四年八月一九日	読売
399	小平、東村山との合併に即答さける	一九五四年八月二六日	読売
400	超過密スケジュールの三町合併	一九五四年八月二九日	読売
401	東村山は四町合併に同調せず	一九五四年九月一日	朝日
402	一市五町案もでた第二回三町合併特別委員会	一九五四年九月七日	毎日
403	小平、合併の可能性むずかしい	一九五四年九月二日	朝日
404	三町合併案にしぼる	一九五四年九月一四日	朝日
405	小平と国分寺の合併案	一九五四年一〇月一二日	読売
406	小平と国分寺で合併を	一九五四年一〇月一三日	朝日
407	三鷹市は二市六町合併案	一九五四年一〇月一五日	読売
408	小金井、小平、国分寺の三町合併案	一九五四年十一月一日	朝日
409	小金井、三町合併へ傾く	一九五四年十一月三日	読売
410	三町合併、市名を保留	一九五四年十一月一六日	毎日
411	対立強く三町合併難航	一九五四年十二月二日	毎日
412	市名は白紙で三町合併協議	一九五五年一月二日	読売
413	町名の声を聞き二町合併を	一九五五年一月一三日	朝日
414	町民の声さまざま、難航の三町合併	一九五六年一月十四日	朝日
415	三町合併協の各常任委員決まる	一九五五年一月二〇日	毎日
416	小平東部住民三町合併に反対	一九五五年一月二二日	毎日
417	三町合併反対期成同盟結成	一九五五年一月二五日	読売
418	三町合併協の話し合い順調にすすむ	一九五五年一月二八日	読売
419	小平の農民、合併に反対懇願書	一九五五年一月三〇日	読売
420	合併反対農民、小平町議会に押しかける	一九五五年一月三一日	読売
421	小平も国分寺も合併反対の運動激化	一九五五年一月三一日	毎日
422	町民の反対運動続く	一九五五年一月一日	毎日
423	農民の反対強く議長辞職を公言	一九五五年一月一日	読売
424	町民の反対で三町合併は頓挫	一九五五年一月二日	毎日
425	三町合併は町長らの気乗り薄で見送り	一九五五年一月二日	読売
426	三町合併を正式に見送る	一九五五年一月三日	毎日
427	三町合併不成立の「声明書」を可決する	一九五五年一月三日	読売
428	三町合併推進派の国分寺町議辞表を提出	一九五五年一月四日	毎日
429	三町合併は流産決定	一九五五年一月四日	読売
430	三町合併反対期成同盟の報告会	一九五五年二月五日	朝日
431	三町合併不成立を都に通告	一九五六年四月一六日	朝日
432	小平町の向山地区は国分寺へ合併希望	一九五六年四月二六日	朝日
433	小平町議会、向山地区の国分寺編入を認めず	一九五六年六月二〇日	毎日
434	都下の町村が半分以上に	一九五六年九月三〇日	朝日
435	小金井は単独で市制実現へ	一九五七年二月二六日	毎日
436	ゆれる小金井市の合併問題	一九五七年三月六日	読売
437	ふたたび三町合併の機運たかまる	一九五七年三月七日	朝日
438	三町合併に都も乗り気薄	一九五七年三月一九日	朝日
439	単独で小金井市実現へ	一九五八年二月三日	読売
440	小金井市は単独で今秋市制へ	一九五八年七月二八日	読売
441	まず小金井が市制実現	一九五八年九月二九日	朝日
442	八四市町村が四三市町村に	一九五八年二月九日	朝日

第四節

- 443 武蔵野と三鷹の合併も流産 一九五八年二月三日 読売
- 平和と基地問題
- 444 戦火を生きのびたのに 一九四八年五月九日 毎日
- 445 立川でヤミの女性二八名を検挙 一九五〇年八月一日 朝日
- 446 警察予備隊、小平の警察学校に入校 一九五〇年八月三日 毎日
- 447 小平で警察予備隊入所式 一九五〇年八月二四日 毎日
- 448 警察予備隊の訓練生活 一九五〇年八月二五日 毎日
- 449 元陸軍兵器廠に盗賊 一九五一年六月二六日 毎日
- 450 対日講和条約で小平町の入選標語 一九五一年九月一九日 毎日
- 451 砂川基地拡張反対運動 一九五二年八月二八日 朝日
- 452 アメリカ兵、整育園児に愛のプレゼント 一九五二年九月四日 朝日
- 453 北多摩教組文化部、基地問題を教育問題として取り組む 一九五二年十一月八日 朝日
- 454 大和村で米軍兵舎建設反対運動 一九五二年二月二六日 朝日
- 455 敗戦の落しもの消えず 一九五二年二月二七日 毎日
- 456 立川市中学生の作文、「基地の街」はいやです 一九五三年五月五日 朝日
- 457 国分寺で朝鮮戦争休戦を祝う会 一九五三年六月一九日 毎日
- 458 いま陸軍少年通信兵学校跡は 一九五三年八月一八日 読売
- 459 いま陸軍経理学校跡は 一九五三年八月二一日 読売
- 460 米軍当局、強盗米兵の裁判権譲渡を申入れ 一九五四年二月五日 朝日
- 461 久里浜から小平へ 保安隊幹部学校など移転 一九五四年二月二六日 毎日
- 462 朝鮮戦争終結で立川基地周辺はさびれる 一九五四年九月三日 毎日
- 463 防衛庁長官、陸上自衛隊立川部隊で訓辞 一九五四年九月一日 朝日
- 464 盛大に自衛隊小平駐屯部隊の開庁式 一九五四年一月二二日 読売
- 465 御岳神社で帰還促進祈願祭 一九五四年一月二日 毎日

【トピック③】米軍機墜落事故

- 466 米軍機小平に墜落、搭乗員二七名死亡 一九五三年六月一九日 毎日
- 467 死体搬出のための米軍ジープ、麦畑に乗り入れる 一九五三年六月二〇日 毎日
- 468 日本人の警官消防署員も事故現場から追い出される 一九五三年六月二〇日 朝日
- 469 ガソリンや消火液のしみこんだ麦畑 一九五三年六月二六日 朝日
- 470 小川寺住職の読経で米兵慰霊祭 一九五三年八月四日 朝日
- 471 小平町役場、都に損害補償を要望 一九五三年八月二六日 朝日
- 472 墜落の衝撃で乳牛のミルクも止まる 一九五三年一〇月二五日 朝日
- 473 米軍機墜落事故とその後 一九五三年一二月五日 毎日
- 474 米軍機墜落の補償額三分の一に削減、再査定を要求 一九五四年三月一〇日 朝日

第五節

町づくり

- 475 玉川上水も観光道路に 一九四八年七月一〇日 読売
- 476 小平をふくむ電話局新設 一九四八年八月二七日 読売
- 477 小平町小川に五四戸の都営住宅 一九四九年八月二七日 朝日
- 478 都営住宅、自治体に大きな負担 一九五〇年四月一三日 朝日
- 479 心ワクワクの都営住宅入居抽選 一九五〇年四月一九日 読売
- 480 小川から玉川上水までの西武線開通 一九五〇年五月一七日 朝日
- 481 小平の都営住宅でも一七戸入居へ 一九五一年二月二〇日 読売
- 482 小平に一八四戸の都営住宅 一九五二年二月三日 毎日
- 483 都営住宅に地元自治体は悲鳴 一九五三年八月一八日 読売
- 484 府中街道を拡張しコンクリート舗装 一九五三年十一月一八日 朝日

【トピック④】小平霊園

第六節 教育・文化

一 小・中学校

- 485 小平に都宮墓地 一九四七年一月六日 朝日
486 小平で墓地都市に向けた動き 一九四七年九月二七日 読売
487 環境のよい小平霊園開園 一九四八年五月七日 毎日
488 墓地取得の遺骨保管証疑惑 一九五四年八月七日 読売
489 小平霊園地、坪千三百五十円で地主と交渉 一九五四年八月一三日 読売
490 坪二千円を地主側要求 一九五四年八月二〇日 読売

- 491 新制中学、小平は青年学校用地跡に 一九四七年二月一六日 朝日
492 社会科授業に映画を活用 一九四八年二月二七日 読売
493 小平の新制中学校舎は日立製作所の建物 一九四八年三月二一日 毎日
494 少年の家サレジオ学園開校 一九四八年二月一六日 朝日
495 手さぐりの社会科授業 一九五〇年一月三日 毎日
496 小平中学校、都唯一の「職業家庭科」の研究校に指定 一九五一年七月一一日 毎日
497 小平町の小学生、寄生虫保持者約八割 一九五二年一月三一日 毎日
498 二部授業解消のため小平一小に二階建て校舎完成 一九五二年一月三一日 毎日
499 無償教科書の実現をはやく 一九五二年二月二〇日 朝日
500 小平中学の「職業家庭科」研究授業に先生ら三百名 一九五二年六月四日 毎日
501 小平中学が産業教育研究校に 一九五二年八月一四日 読売
502 小平中学校の書道天才教師 一九五三年一月八日 毎日
503 小平三小の社会科授業 一九五三年一月二四日 朝日
504 小平小中学校の映画教育 一九五三年五月八日 朝日
505 小平中学の誇り 一九五三年二月二二日 毎日
506 小平二小の二十五周年記念 一九五四年一月一四日 読売
507 小平・田無町の委託児童で対立 一九五四年二月六日 朝日
508 田無町、委託児童を拒否 一九五四年二月一九日 毎日
509 小平町では第四小建設 一九五四年二月二〇日 毎日
510 町村合併を考慮して児童委託を受け入れ 一九五四年四月七日 読売
- 二 高校
- 511 男女共学スタート、困難多し 一九五〇年七月二〇日 毎日
512 試験地獄と厳しい就職戦線 一九五二年一〇月一八日 朝日
513 定時制高校生の生活実態 一九五三年一月一日 毎日
- 三 大学
- 514 林の中のクリーム色の校舎、津田塾 一九四八年二月三日 毎日
515 農耕と勉強と信仰の恵泉女学園 一九四八年二月一〇日 毎日
516 ゼミナールの東京商大 一九四八年二月一七日 毎日
517 バンカラな紅陵大学 一九四八年三月二日 毎日
518 津田塾大学、新制大学としてスタート 一九四八年四月二〇日 朝日
519 恵泉女短大の農作物販売 一九五〇年一〇月二七日 毎日
520 講和後の各大学、就職は順調 一九五一年九月二〇日 朝日
- 四 障がい者支援機関
- 521 小平町に身体障害者公共職業補導所開設 一九四八年一〇月二四日 朝日
522 公共職業補導所に五〇名入所 一九四八年十一月四日 朝日
523 公共職業補導所の第一期卒業へ 一九四九年八月一日 朝日
524 労相が小平の公共職業補導所を視察 一九五一年六月一五日 読売
525 小平の公共職業補導所、全国作品展で表彰 一九五二年一〇月二三日 毎日

五 社会教育と文化

- 526 小平の公共職業補導所に労働大臣賞 一九五四年九月五日 朝日
- 527 小平で文化映画会 一九四八年五月一日 朝日
- 528 新制高校を利用して冬休みに青年講座 一九四九年一月二〇日 読売
- 529 石器から農作物までの小平町民祭 一九五一年一月二二日 読売
- 530 由緒ある小平町の平安院で除幕式 一九五二年五月一七日 毎日
- 531 社会教育の振興にのりだした都 一九五三年一月九日 朝日
- 532 都下の社会教育や文化施設は低調 一九五三年三月三日 朝日

第七節 生活―貧しさからの脱却―

一 生活の改善

- 533 食べものを分ちあう小平 一九四六年六月四日 朝日
- 534 非農家にカボチャを配給 一九四七年六月二三日 読売
- 535 小平町、「実践郷」の指定町に 一九四七年六月二六日 読売
- 536 東村山で冠婚葬祭の簡素化運動の徹底 一九五〇年一月一八日 毎日
- 537 生活貧窮者にモチ代、小平は醤油 一九五一年二月二六日 朝日
- 538 三多摩のボーナス事情 一九五三年六月一九日 毎日
- 539 七五三の祝い華美に 一九五三年一月一四日 毎日
- 540 高額所得者に文豪や会社重役 一九五三年二月六日 毎日
- 541 倍率高騰の都営住宅入居 一九五四年七月六日 毎日

二 女性の自立

- 542 わが国初の女子大のスタート 一九四六年一月一四日 毎日
- 543 小平農業会の女子課長、惜しまれて退職 一九四七年三月六日 読売
- 544 再選した女性代議士松谷天光光、語る 一九四七年四月二九日 朝日
- 545 女性代議士の結婚に対する支持者の声 一九四九年二月一三日 朝日
- 546 女性代議士、今度は労農党を脱党 一九五〇年八月三〇日 朝日
- 547 恵泉女学園短大、園芸で情操美化と協力精神 一九五二年六月一日 毎日
- 548 恋愛は政治活動に無関係 一九五二年九月一六日 毎日
- 549 立川市のヤミ女性の実態調査 上 一九五三年二月二〇日 朝日
- 550 立川市のヤミ女性の実態調査 下 一九五三年二月二一日 朝日
- 551 女性の手で緑の町を作ろう 一九五三年一〇月一七日 毎日
- 552 津田塾大学、ヒューマニズムに富む堅実な女性をめざして 一九五四年一月六日 毎日

三 医療・福祉

- 553 蚊とハエと日本脳炎 一九四八年八月一〇日 朝日
- 554 武蔵療養所延焼 一九五〇年二月二四日 読売
- 555 猛威をふるう狂犬病に小平の畜産衛生試験所で新薬 一九五〇年七月九日 毎日
- 556 昭和病院、明るい病棟が完成 一九五二年六月一九日 朝日
- 557 狂犬、小平の子どもを襲う 一九五三年六月一四日 朝日

第八節 事件・世相

一 事件

- 558 土蔵を破り衣類二百九十点盗む 一九四七年一月一四日 読売
- 559 小平に強盗団 一九四八年三月一六日 読売
- 560 緘黙の強盗犯 一九四九年二月一六日 朝日
- 561 ケーブル、電線ドロ、跋扈 一九五一年八月一日 毎日
- 562 電話線ドロ、なぐられ危篤 一九五一年一〇月一〇日 朝日
- 563 電線ドロの余罪あり 一九五二年三月七日 朝日

二世相

- 564 ベビーブーム到来 一九四七年六月一日 読売
- 565 サツマイモのヤミ横行 一九四七年一〇月一日 読売
- 566 玉川上水でまた投身自殺 一九五四年七月二一日 毎日
- 567 デフレで質屋は好調 一九五四年九月五日 毎日
- 568 デフレで娯楽の余裕がなくなる 一九五四年一〇月二六日 毎日
- 569 一九五四年、都下質屋の年の瀬 一九五四年二月一六日 毎日

第四章 高度成長下での町から市へ（一九五五〜六〇年）

第一節 自然と人

一 自然

- 570 井戸枯れの都営住宅 一九五七年五月一八日 毎日
- 571 落雷・豪雨・停電 一九五八年七月二〇日 毎日
- 572 台風で教室使えず 一九五九年九月二八日 毎日
- 573 降雹で停電、大根全滅 一九六〇年九月二五日 朝日

二 信仰

- 574 田無の納涼盆踊り 一九五七年八月二二日 毎日
- 575 小平での盆踊り講習会 一九五八年七月六日 読売
- 576 存続か廃止か、くらやみ祭り 一九五九年四月一八日 読売

第二節 農業

- 577 小平のスイカ好調、野菜暴落 一九五五年七月一五日 朝日
- 578 クリタマバチと農家の闘い 一九五六年五月二五日 毎日
- 579 小平の毒ガの被害深刻 一九五六年六月二〇日 毎日
- 580 小平町、新農村指定町村に選ばれる 一九五六年九月八日 毎日
- 581 野菜から養豚へ 一九五七年一月二一日 毎日
- 582 皇太子がスイカづくり 一九五八年一月二八日 読売
- 583 芝作りに転換、是か非か 一九五九年三月一〇日 朝日
- 584 次三男の相続放棄で長男に農地相続 一九五九年九月二九日 朝日
- 585 土地ブームのなかの農業 一九六〇年四月九日 毎日
- 586 東京の特産、狭山茶復活 一九六〇年五月八日 朝日
- 587 小平で水稲の畑地栽培 一九六〇年九月二一日 朝日

第三節 政治―地域の枠組み―

一 国政

- 588 三多摩衆院選、各党の戦いぶり 一九五五年一月六日 読売
- 589 自民党小平支部の結成 一九五六年六月一一日 毎日
- 590 東京第七区三多摩地区の衆院選立候補者 一九五七年一月一九日 毎日
- 591 総選挙に細田義安立候補 一九五八年四月五日 毎日
- 592 細田義安を自民党公認す 一九五八年四月二二日 読売
- 593 戦後三多摩総選挙のあゆみ 一九五八年五月一日 朝日
- 594 候補者細田義安の人柄 一九五八年五月三日 朝日
- 595 候補者細田義安の約束 一九五八年五月三日 朝日
- 596 候補者細田義安の素描 一九五八年五月三日 読売
- 597 有力候補者の主張 一九五八年五月一一日 朝日
- 598 新代議士細田義安 一九五八年五月二四日 読売
- 599 細田代議士、長年の夢が実現 一九五八年五月二六日 朝日
- 600 初登庁の細田代議士 一九五八年六月二一日 毎日

601 政争を解決、細田代議士 朝日 一九五八年八月九日
602 都下の警職法反対運動 朝日 一九五八年一月五日
603 都立高校誘致に細田代議士 読売 一九六〇年八月二五日
604 三多摩衆院選の情勢 読売 一九六〇年九月二〇日

二 都政と首都圏整備

605 都議会議員候補者中島与吉 毎日 一九五五年四月二一日
606 宅地造成で蚕食される都下の農地 毎日 一九五五年八月一四日
607 都財務局長に小平の細田義安氏 朝日 一九五五年九月六日
608 首都圏整備法のめざすもの 朝日 一九五六年四月二一日
609 首都圏整備法による開発計画 読売 一九五六年八月一六日
610 地元無視のグリーンベルトに反対する運動 読売 一九五六年二月四日
611 緑地帯反対の陳情 朝日 一九五六年二月五日
612 首都圏整備の構想 朝日 一九五七年一月五日
613 緑地帯反対運動の対応 読売 一九五七年三月六日
614 首都圏・町村合併・衛生都市 読売 一九五七年二月一九日
615 首都圏整備でハネ上る土地代金 毎日 一九五八年八月二四日
616 発展する立川 読売 一九五九年一月二八日
617 人口増加により事務量増加の北多摩地方事務所 朝日 一九五九年二月一八日
618 都知事候補者の三多摩構想 毎日 一九五九年三月三〇日
619 都政を左右する三多摩有権者 朝日 一九五九年四月四日
620 緑地造成計画案は未確定のまま 朝日 一九五九年六月二三日
621 北多摩の人口増加率、都内の二倍 朝日 一九五九年八月二五日
622 慎重な消防署の一本化 朝日 一九五九年十一月一日
623 都内都下消防の一本化案進む 朝日 一九六〇年二月一三日
624 小平を管轄する北多摩中央消防署 朝日 一九六〇年三月三〇日
625 都市計画案の改定に反対意見続出 読売 一九六〇年四月一三日

三 町政から市政へ

626 小平町議会議員削減決議 読売 一九五五年三月四日
627 小平町議会、都営住宅断る 朝日 一九五五年七月一四日
628 小平で都市計画による町づくり 毎日 一九五五年七月一六日
629 税収入増で市制へ近づく 読売 一九五八年五月二二日
630 小平町役場で窓口改善 読売 一九五八年七月二五日
631 合併不成立で小金井市に 読売 一九五八年七月二八日
632 小平で選挙公報発行 毎日 一九五九年三月二九日
633 町から市へもうすぐ 読売 一九五九年六月二二日
634 農村から都市へ変貌する小平 毎日 一九五九年十一月二六日
635 小平町、人口増加も税収伸びず 読売 一九六〇年三月一四日
636 小平町で保健婦による健康相談室が開かれる 朝日 一九六〇年八月四日
637 小平町、人口五万人を超えて都下最大の町に 読売 一九六〇年九月六日
638 増加しつづける都下の人口 朝日 一九六〇年二月六日
639 人口急増に追いつかない小平町の行政 毎日 一九六〇年十二月三一日

四 自治と住民運動

640 患者の人権と病院 毎日 一九五五年三月一〇日
641 小川六番組、優良組合表彰 朝日 一九五五年七月三〇日
642 青年団、お祭りから学習へ 読売 一九五六年六月四日
643 御岳山で小平青年団研修会 読売 一九五七年八月二五日

第四節

644 病院給食の改善を 一九五九年二月二日 読売
 645 小平選挙公報の直接請求 一九五九年三月五日 毎日
 464 都営住宅の家賃値上げ反対運動 一九五九年二月九日 読売
 647 三多摩における安保反対闘争 一九五九年二月一日 読売
 648 小平でゴミ焼却場建設に住民が要望 一九五九年二月二七日 読売
 649 都営住宅家賃値上げに異議申請 一九六〇年四月二六日 読売
 650 都営住宅家賃支払い拒否 一九六〇年四月二七日 読売
 651 団地生活から生まれるサークル運動 一九六〇年六月四日 毎日
 652 団地自治会、標準クリーニング代を設定 一九六〇年六月五日 読売
 653 小平町内の自治会、消防協力金値上げ運動 一九六〇年六月七日 読売
 654 小平町都営住宅協議会、生活物資の割引販売 一九六〇年七月九日 読売
 655 小平町公民館、主婦向けに話し合い映画会を開催 一九六〇年十二月一五日 読売
 平和と基地問題

656 基地整備で小金井桜伐採 一九五五年二月二六日 朝日
 657 砂川町で立川基地拡張反対運動 一九五五年五月一日 朝日
 658 立川基地拡張計画、町を二分 一九五五年五月一七日 朝日
 659 砂川町、「基地台風」の二日間 一九五五年八月二六日 読売
 660 爆音で難聴に悩む子ども 一九五五年一月二九日 朝日
 661 子どもの心を裂く基地拡張 一九五五年一月一〇日 読売
 662 ふえる米軍犯罪低い起訴率、地検八王子支部の統計 一九五五年一月一九日 朝日
 663 砂川基地闘争一周年平和祭 一九五六年四月二五日 朝日
 664 測量隊、一本のクイも打てず 一九五六年一月一三日 朝日
 665 米軍、人員整理撤回 一九五六年二月一三日 読売
 666 小平で米兵のひき逃げか 一九五七年二月三〇日 毎日
 667 羽田から立川へ移駐 一九五八年一月一九日 朝日
 668 子どもの眼にふれる米兵と夜の女 一九五八年六月六日 朝日
 669 三多摩にもいる被爆者 一九五八年八月五日 朝日
 670 米軍が無料で英会話教室 一九五九年九月三日 朝日
 671 安保で切り捨て基地労働者 一九六〇年一月二八日 朝日
 672 小平町、駐留軍関係離職者に生活資金を貸与 一九六〇年四月八日 読売
 673 三多摩で安保反対に一万人動員 一九六〇年六月一五日 朝日
 674 立川基地の労務者 一九六〇年六月二四日 朝日
 675 基地依存経済から脱却へ、立川市長語る 一九六〇年十二月一三日 朝日
 町づくり

第五節

676 西武線の増発 一九五五年九月二日 読売
 677 住宅公団建設で小平町の財政負担増大 一九五五年一〇月八日 読売
 678 小平学園駅廃止か 一九五六年六月九日 毎日
 679 商店会による小平学園駅の廃止反対 一九五六年七月三日 毎日
 680 小平へ身障者救護施設が移転 一九五七年四月一〇日 朝日
 681 小平へブリヂストン進出 一九五七年一月二八日 朝日
 682 小平町の工場ブーム 一九五八年一月二三日 朝日
 683 どこに決まるか国鉄武蔵野線 一九五八年八月二六日 読売
 684 山積する団地の諸問題 一九五八年八月二八日 朝日
 685 小平学園郵便局開設 一九五八年十二月二五日 朝日
 686 小平で人口五千人増加 一九五九年二月一日 毎日
 687 小平町小川の踏切に一号警報機 一九五九年二月二日 読売

- 688 西武線のダイヤ改正 一九五九年二月一七日 読売
- 689 西武線、小川―拝島が直通に 一九五九年二月二日 読売
- 690 小平の三大工場 一九五九年六月七日 読売
- 691 団地建設でつぶされる農地 一九五九年八月一三日 読売
- 692 国分寺の環境浄化運動 一九五九年一〇月三日 毎日
- 693 団地でふえる駐車違反 一九六〇年二月一九日 朝日
- 694 少ない交番で団地の治安は大丈夫か 一九六〇年六月一〇日 読売
- 695 小平町で電話局新設 一九六〇年九月二九日 朝日
- 696 ブリヂストン、小平六小の校舎をプレゼント 一九六〇年一二月一六日 毎日
- 【トピック⑤】武州鉄道敷設への動き
- 697 吉祥寺から秩父へ、武州鉄道への期待 一九五九年一月七日 朝日
- 698 小平で武州鉄道敷設に反対 一九五九年二月一九日 毎日
- 699 武州鉄道の路線変更 一九五九年二月二五日 朝日
- 700 西武が武州鉄道反対 一九六〇年二月一〇日 毎日
- 701 西武対武州鉄道 一九六〇年五月一七日 朝日
- 702 小平は武州鉄道賛成 一九六〇年五月一八日 朝日

第六節 教育・文化

一 小・中学校

- 703 小平二中新築工事着工 一九五五年二月一九日 朝日
- 704 いつまで続くか、三多摩の教室不足 一九五五年一二月三〇日 毎日
- 705 もてはやされる金の卵、立川職安調べ 一九五六年二月一八日 読売
- 706 増築し小平四小(現五小)が発足 一九五六年二月二五日 読売
- 707 小平五小開校へ人々の熱意 一九五六年三月一〇日 毎日
- 708 北多摩郡青少年問題協議会 一九五六年四月一三日 毎日
- 709 小平四小への寄付、熱心なPTA 一九五六年四月二九日 毎日
- 710 一日も早く、小平二中開校を 一九五七年一月一四日 毎日
- 711 理科教育の充実を 一九五八年一〇月一日 読売
- 712 三多摩で勤評反対デモ 一九五八年一〇月二九日 読売
- 713 集団下痢で学校ごと消毒 一九五九年六月三日 朝日
- 714 台風で小平町の学校の屋根が飛ぶ 一九五九年九月二九日 朝日
- 715 小平町三小で校歌発表会 一九六〇年二月二九日 朝日
- 716 中学校新設へ、準備協力会で話し合い 一九六〇年六月一日 読売
- 717 小平二中で自治会長が奉仕 一九六〇年九月二二日 読売

【トピック⑥】学童の交通事故

- 718 事故をなくせ 一九五四年一月二五日 毎日
- 719 小学生の自転車が大破 一九五五年九月五日 読売
- 720 小学生が電車にはねられる 一九五六年四月一三日 毎日
- 721 交通整理班で事故防止 一九五八年六月一日 毎日
- 722 交差点に信号機設置 一九五九年二月二八日 朝日

二 高校

- 723 男性との文通問題、立川高校で生徒総会 一九五五年一〇月二〇日 読売
- 724 都立小平高校の新設を 一九五六年五月二日 読売
- 725 立川基地と高校生の眼 一九五七年一〇月一日 朝日
- 726 男女共学で中性化すすむか 一九五七年一〇月一七日 朝日
- 727 働く定時制高校生の悩み、都立五商 一九五八年三月一日 毎日
- 728 北多摩北部にも都立高校を 一九五八年三月二二日 毎日

729	安保で立川高校の討論会	一九六〇年六月二五日	朝日
三 大学			
730	津田塾大生の政治意識	一九五八年七月一三日	毎日
731	武蔵野美術学校が小平に	一九六〇年四月二二日	朝日
四 障がい者支援機関			
732	世界的バレリーナ、小平の緑成会見舞う	一九五五年一〇月二六日	読売
733	職業補導所卒業生、就職は大半決まる	一九五五年一〇月二六日	読売
734	多摩緑成会の整育園	一九五五年一月七日	毎日
735	二四都道府県より職業補導所に入所	一九五七年四月一二日	朝日
736	小平の職業補導所、仮装行列で市民と交流	一九五七年四月一五日	朝日
737	肢体不自由な子どもを守る	一九五八年一月一日	朝日
738	小平に初の国立中央職業訓練所	一九五九年三月二七日	読売
739	小平町の町工場、身体障がい者を二四人採用	一九五九年三月三一日	朝日
740	小平町、身体障がい者職業訓練所でマネキン人形つくる	一九五九年八月二七日	朝日
741	身体の不自由を克服して歯科技工士に	一九五九年一月一三日	朝日
742	職業訓練所の卒業生の過酷な労働条件	一九六〇年三月二日	朝日
743	職業訓練所、サークル活動で生きる自信が	一九六〇年六月二四日	朝日
744	女優が職業訓練所の一日所長	一九六〇年九月八日	朝日
五 社会教育			
745	社会教育の三多摩格差	一九五六年四月一九日	毎日
746	小平町公民館が移動映画教室	一九五八年六月五日	朝日
747	都下の貸本屋盛況	一九五八年一〇月三〇日	読売
748	北多摩地区でお母さんコーラスブーム	一九六〇年一月八日	朝日
749	小平青年学級で八ミリ映画制作	一九六〇年二月一日	朝日
750	東京都の公民館設置率は三四%	一九六〇年六月二日	朝日
751	小平町青年学級英会話クラスで英文文集完成	一九六〇年六月一五日	朝日
752	小平町の婦人や青年、公民館を私たちの手で	一九六〇年八月一九日	朝日
六 文化			
753	小平町の小川家で歴史調査	一九五五年二月一六日	読売
754	小平の円成院で平安時代の薬師如来像発見	一九五六年七月二二日	毎日
755	新感覚の小平町誌が完成	一九五九年五月二〇日	朝日
756	小平町誌と町の進むべき方向	一九五九年一〇月一日	朝日
第七節 生活―ゆたかな生活を求めて―			
一 生活の改善			
757	年賀ハガキ買占めは新生活運動に逆行	一九五五年一月一九日	毎日
758	新生活運動進まず	一九五五年一月一日	朝日
759	低収入の日雇労働者	一九五六年五月五日	読売
760	失対労働者の職業補導所入所	一九五六年七月一二日	読売
761	小平町で石けんによる新生活運動	一九五七年一月二四日	毎日
762	補導所訓練生に希望職種への道ひられる	一九五九年二月一九日	読売
763	都営住宅を引揚者用の住宅に	一九五九年九月一〇日	読売
764	大もての中卒者、求人数が四倍に	一九五九年二月五日	読売
765	地方自治体財政に寄与する立川競輪	一九五九年二月一三日	読売
766	小平学園駅のラッシュで西武鉄道に増結を要求	一九六〇年三月三〇日	読売
二 医療・福祉			
767	赤痢感染で隔離	一九五七年一月六日	毎日

768	国保の現状、小平は未加入	一九五八年二月四日	朝日
769	小平でも国保スタート	一九五九年一月二三日	読売
770	昭和病院組合から武蔵野市が脱退	一九五九年二月三日	読売
771	国保被保険者の実態調査	一九五九年五月一〇日	朝日
772	成人病対策で野中新田が集団検診	一九六〇年三月二日	読売
773	国民年金の加入率一%	一九六〇年一〇月一二日	朝日
	三 環境問題		
774	玉川上水へゴミ捨て増加	一九五五年一月三〇日	読売
775	小平町の美化運動	一九五六年四月四日	毎日
776	共同作業で河川清掃	一九五九年一月二八日	読売
777	悪臭工場の移転を陳情	一九五九年二月二四日	朝日
778	ゴミ焼却に高さ四五メートルの煙突を設置	一九六〇年六月一日	朝日
	第八節 事件・世相		
	一 事件		
779	少年非行は都内の二倍	一九五九年二月一九日	朝日
780	チンピラの一掃	一九六〇年四月一〇日	毎日
	二 世相		
781	伝書バト百キロ競争	一九五八年二月一日	毎日
782	映画も斜陽	一九五八年二月二日	読売
783	質入れ少なし	一九五九年二月二九日	朝日